

令和4年11月30日

各 位

会社名 シンプレクス・アセット・マネジメント株式会社
(管理会社コード：16714)
代表者名 代表取締役社長 水嶋 浩雅
問合せ先 業務本部 山口 節一
(TEL：03-5208-5211)

上場ETF(管理会社：シンプレクス・アセット・マネジメント)に関する日々の開示事項

シンプレクス・アセット・マネジメント株式会社を管理会社として上場するETF銘柄について、以下のとおり令和4年11月29日の状況をご報告します。

上場ETF銘柄(17銘柄)

掲載番号	銘柄名	銘柄コード	上場取引所
1	WTI原油価格連動型上場投信	1671	東証
2	Simple-X NYダウ・ジョーンズ・インデックス上場投信	1679	東証
3	東証スタンダード TOP20 ETF	1551	東証
4	東証グロース・コア ETF	1563	東証
5	TOPIXブル2倍上場投信	1568	東証
6	TOPIXベア上場投信	1569	東証
7	中国H株ブル2倍上場投信	1572	東証
8	中国H株ベア上場投信	1573	東証
9	日経平均ブル2倍上場投信	1579	東証
10	日経平均ベア上場投信	1580	東証
11	TOPIXベア2倍上場投信	1356	東証
12	日経平均ベア2倍上場投信	1360	東証
13	JPX日経400ブル2倍上場投信(レバレッジ)	1467	東証
14	JPX日経400ベア上場投信(インバース)	1468	東証
15	JPX日経400ベア2倍上場投信(ダブルインバース)	1469	東証
16	東証マザーズETF	2516	東証
17	東証REIT ETF	2555	東証

*各銘柄の状況につきましては、次ページ以降をご参照ください。なお、各銘柄名をクリックしていただくと、各銘柄の状況が表示されます。

以 上

会社名 シンプレクス・アセット・マネジメント株式会社
(管理会社コード:16714)
代表者名 代表取締役社長 水嶋 浩雅
(銘柄コード:1671)
問合せ先 業務本部 山口 節一
(TEL:03-5208-5211)

『WT I 原油価格連動型上場投信』に関する日々の開示事項

開示基準日:令和4年11月29日

1. 上場ETFの上場受益権口数
(開示基準日現在)

10,358,000 口

2. 上場ETFの純資産総額
(開示基準日現在)

26,696,775,289 円

3. 上場ETFの一口あたりの純資産額
(開示基準日現在)

2,577.41 円

4. 上場ETFの一口あたりの純資産額と対象指標の終値の乖離率
(開示基準日現在)

-0.08 %

$$\text{乖離率} = \left(\frac{\text{上場ETFの一口あたりの純資産額}}{\text{前営業日の上場ETFの一口あたりの純資産額}} - \frac{\text{円換算した特定の指標の終値}}{\text{円換算した前営業日の特定の指標の終値}} \right) \times 100 (\%)$$

5. 指標の特徴や留意点等

○原資産等の価格を利用する指標との差異
対象指標は、現物の原油価格ではなく、原油先物取引の価格を参照しています。原油先物取引の価格には、保管コスト（コスト・オブ・キャリー）等が反映されることにより、現物の原油価格を参照する場合と比べて投資成果が下回るおそれがあります。

○ロールオーバーに伴う損益について
対象指標を構成する原油先物取引において、通常、限月間に保管コスト等を反映した価格差があります。期近の先物価格よりも期先の先物価格が高くなっていく順踏の状態（以下「コンタンゴ」といいます。）において、保管コスト等を反映した先物価格の時間的価値が減価する場合には、次限月以降の限月への乗換え（以下「ロールオーバー」といいます。）に伴って損失が発生する場合があります。一方、期近の先物価格よりも期先の先物価格が低くなっていく逆踏の状態（「バックワーデーション」といいます。）においては、ロールオーバーに伴って収益が発生する場合があります。

○留意すべき投資スタイル（中長期的な投資）
コンタンゴの状態が多くなる場合等、ロールオーバーに伴う損失が累積すること等によって対象指標が減価するおそれがあるため、中長期的な投資を行う場合には留意が必要です。

○原油先物取引が限月の最終取引日近くとなり、銘柄入れ替えを行う際に負担する売買コストが、基準価額の変動率とのかい離を生じさせる要因になる可能性があります。

○信託報酬等のコスト負担が、基準価額の変動率とのかい離を生じさせる要因になります。

WTI原油価格連動型上場投信

開示基準日におけるWTI原油先物取引の買建玉

23年02月限

2,382 単位

23年03月限

235 単位

会社名 シンプレクス・アセット・マネジメント株式会社
(管理会社コード:16714)
代表者名 代表取締役社長 水嶋 浩雅
(銘柄コード:1679)
問合せ先 業務本部 山口 節一
(TEL:03-5208-5211)

『Simple-X NYダウ・ジョーンズ・インデックス上場投信』に関する日々の開示事項

開示基準日:令和4年11月29日

1. 上場ETFの上場受益権口数
(開示基準日現在)

41,000 口

2. 上場ETFの純資産総額
(開示基準日現在)

1,671,590,861 円

3. 上場ETFの一口あたりの純資産額
(開示基準日現在)

40,770.51 円

4. 上場ETFの一口あたりの純資産額と対象指標の終値の乖離率
(開示基準日現在)

0.01 %

$$\text{乖離率} = \left(\frac{\text{上場ETFの一口あたりの純資産額}}{\text{前営業日の上場ETFの一口あたりの純資産額}} - \frac{\text{円換算した特定の指標の終値}}{\text{円換算した前営業日の特定の指標の終値}} \right) \times 100 (\%)$$

以上

会 社 名 シンプレクス・アセット・マネジメント株式会社
(管理会社コード:16714)
代表者名 代表取締役社長 水嶋 浩雅
(銘柄コード:1551)
問合せ先 業務本部 山口 節一
(TEL:03-5208-5211)

『東証スタンダードTOP20 ETF』に関する日々の開示事項

開示基準日:令和4年11月29日

1. 上場ETFの上場受益権口数
(開示基準日現在)

147,981 口

2. 上場ETFの純資産総額
(開示基準日現在)

647,672,984 円

3. 上場ETFの一口あたりの純資産額
(開示基準日現在)

4,376.73 円

4. 上場ETFの一口あたりの純資産額と対象指標の終値の乖離率
(開示基準日現在)

-0.01 %

$$\text{乖離率} = \left[\frac{\text{上場ETFの一口あたりの純資産額}}{\text{前営業日の上場ETFの一口あたりの純資産額}} - \frac{\text{特定の指標の終値}}{\text{前営業日の特定の指標の終値}} \right] \times 100 (\%)$$

5. 設定および交換にかかる株式のポートフォリオ (別紙参照)

以 上

東証スタンダードTOP20 ETF

	株価指数終値	日次 騰落率	一口あたりの 純資産額	日次 騰落率	乖離率	受益権総口数	純資産総額
2022/09/28	4,105.06	-1.35%	4,141	-1.35%	0.00%	147,981	612,788,651
2022/09/29	4,086.87	-0.44%	4,136	-0.13%	0.32%	147,981	612,012,522
2022/09/30	3,995.76	-2.23%	4,044	-2.21%	0.02%	147,981	598,461,480
2022/10/03	4,027.00	0.78%	4,075	0.77%	-0.02%	147,981	603,049,424
2022/10/04	4,122.25	2.37%	4,171	2.34%	-0.02%	147,981	617,179,723
2022/10/05	4,131.87	0.23%	4,180	0.23%	0.00%	147,981	618,591,576
2022/10/06	4,132.57	0.02%	4,179	-0.03%	-0.05%	147,981	618,416,230
2022/10/7より対象指数が東証スタンダード市場TOP20に変更、同日の騰落率は6日と比較							
2022/10/06	949.92	-	4,179	-0.03%	-	147,981	618,416,230
2022/10/07	945.59	-0.46%	4,160	-0.46%	0.00%	147,981	615,593,334
2022/10/11	932.05	-1.43%	4,100	-1.44%	-0.01%	147,981	606,735,759
2022/10/12	928.71	-0.36%	4,085	-0.36%	0.00%	147,981	604,550,034
2022/10/13	920.80	-0.85%	4,051	-0.85%	0.00%	147,981	599,399,356
2022/10/14	938.67	1.94%	4,129	1.93%	-0.01%	147,981	610,966,889
2022/10/17	926.78	-1.27%	4,076	-1.27%	-0.01%	147,981	603,196,435
2022/10/18	944.40	1.90%	4,153	1.89%	-0.01%	147,981	614,605,486
2022/10/19	949.44	0.53%	4,175	0.53%	0.00%	147,981	617,857,791
2022/10/20	950.65	0.13%	4,180	0.12%	0.00%	147,981	618,623,171
2022/10/21	950.04	-0.06%	4,178	-0.07%	0.00%	147,981	618,215,836
2022/10/24	946.03	-0.42%	4,160	-0.43%	-0.01%	147,981	615,550,252
2022/10/25	952.76	0.71%	4,189	0.71%	0.00%	147,981	619,905,082
2022/10/26	957.78	0.53%	4,210	0.51%	-0.02%	147,981	623,072,126
2022/10/27	952.24	-0.58%	4,186	-0.58%	0.00%	147,981	619,471,895
2022/10/28	949.29	-0.31%	4,173	-0.32%	-0.01%	147,981	617,491,893
2022/10/31	961.39	1.27%	4,225	1.26%	-0.02%	147,981	625,246,942
2022/11/01	963.95	0.27%	4,237	0.27%	0.00%	147,981	626,927,060
2022/11/02	964.67	0.07%	4,240	0.08%	0.00%	147,981	627,400,247
2022/11/04	959.69	-0.52%	4,218	-0.52%	-0.01%	147,981	624,125,597
2022/11/07	968.08	0.87%	4,254	0.86%	-0.01%	147,981	629,517,630
2022/11/08	976.71	0.89%	4,292	0.88%	-0.01%	147,981	635,086,359
2022/11/09	972.37	-0.44%	4,273	-0.44%	0.00%	147,981	632,270,068
2022/11/10	974.70	0.24%	4,283	0.24%	0.00%	147,981	633,763,038
2022/11/11	994.04	1.98%	4,367	1.98%	-0.01%	147,981	646,287,186
2022/11/14	994.83	0.08%	4,370	0.07%	-0.01%	147,981	646,717,585
2022/11/15	997.98	0.32%	4,385	0.33%	0.02%	147,981	648,879,042
2022/11/16	994.21	-0.38%	4,368	-0.38%	0.00%	147,981	646,415,253
2022/11/17	996.50	0.23%	4,378	0.23%	0.00%	147,981	647,886,817
2022/11/18	992.31	-0.42%	4,360	-0.42%	0.00%	147,981	645,154,050
2022/11/21	992.78	0.05%	4,361	0.03%	-0.02%	147,981	645,336,675
2022/11/22	994.05	0.13%	4,366	0.12%	-0.01%	147,981	646,119,847
2022/11/24	1,002.91	0.89%	4,405	0.88%	-0.01%	147,981	651,796,352
2022/11/25	1,009.68	0.68%	4,434	0.67%	-0.01%	147,981	656,142,482
2022/11/28	1,005.47	-0.42%	4,415	-0.43%	-0.02%	147,981	653,292,687
2022/11/29	996.88	-0.85%	4,377	-0.86%	-0.01%	147,981	647,672,984

東証スタンダードTOP20 ETF(交換に係わる交換口数)

※令和04年12月1日は交換不可日のため、受け付けておりません

東証スタンダードTOP20 ETF(設定ポートフォリオ)

※令和04年12月1日は設定不可日のため、受け付けておりません

会社名 シンプレクス・アセット・マネジメント株式会社
(管理会社コード:16714)
代表者名 代表取締役社長 水嶋 浩雅
(銘柄コード:1563)
問合せ先 業務本部 山口 節一
(TEL:03-5208-5211)

『東証グロース・コア ETF』に関する日々の開示事項

開示基準日:令和4年11月29日

1. 上場ETFの上場受益権口数
(開示基準日現在)

951,900 口

2. 上場ETFの純資産総額
(開示基準日現在)

2,496,060,258 円

3. 上場ETFの一口あたりの純資産額
(開示基準日現在)

2,622.19 円

4. 上場ETFの一口あたりの純資産額と対象指標の終値の乖離率
(開示基準日現在)

0.00 %

$$\text{乖離率} = \left(\frac{\text{上場ETFの一口あたりの純資産額}}{\text{前営業日の上場ETFの一口あたりの純資産額}} - \frac{\text{特定の指標の終値}}{\text{前営業日の特定の指標の終値}} \right) \times 100 (\%)$$

5. 設定および交換にかかる株式のポートフォリオ (別紙参照)

以上

東証グロース・コア ETF

日付	株価指数終値	日次 騰落率	一口あたりの 純資産額	日次 騰落率	乖離率	受益権総口数	純資産総額
2022/09/20	2,394.19	-1.39%	2,344	-1.40%	-0.01%	866,951	2,032,187,609
2022/09/21	2,336.45	-2.41%	2,288	-2.41%	0.00%	866,951	1,983,208,766
2022/09/22	2,296.26	-1.72%	2,248	-1.72%	0.00%	883,919	1,987,257,558
2022/09/26	2,224.00	-3.15%	2,177	-3.15%	0.00%	889,577	1,936,951,410
2022/09/27	2,250.43	1.19%	2,203	1.18%	0.00%	889,577	1,959,888,858
2022/09/28	2,221.83	-1.27%	2,175	-1.27%	0.00%	889,577	1,934,972,151
2022/09/29	2,284.45	2.82%	2,240	3.00%	0.18%	889,577	1,992,999,084
2022/09/30	2,259.97	-1.07%	2,216	-1.07%	0.00%	889,577	1,971,661,313
2022/10/03	2,300.65	1.80%	2,256	1.79%	-0.01%	889,577	2,006,889,063
2022/10/04	2,372.64	3.13%	2,326	3.12%	-0.01%	889,577	2,069,436,219
2022/10/05	2,367.60	-0.21%	2,321	-0.21%	0.00%	889,577	2,065,005,702
2022/10/06	2,361.48	-0.26%	2,314	-0.32%	-0.06%	889,577	2,058,422,560
2022/10/7より対象指数は東証グロース市場 Core 指数に変更、同日の騰落率は6日と比較							
2022/10/06	859.48	-	2,314	-0.32%	-	889,577	2,058,422,560
2022/10/07	838.36	-2.46%	2,257	-2.46%	0.00%	889,577	2,007,821,653
2022/10/11	822.56	-1.88%	2,214	-1.89%	0.00%	920,747	2,038,945,571
2022/10/12	815.93	-0.81%	2,197	-0.81%	0.00%	920,747	2,022,527,483
2022/10/13	799.75	-1.98%	2,153	-1.98%	0.00%	920,747	1,982,515,145
2022/10/14	816.55	2.10%	2,198	2.09%	-0.01%	920,747	2,023,963,967
2022/10/17	806.89	-1.18%	2,173	-1.17%	0.02%	920,747	2,000,349,742
2022/10/18	842.18	4.37%	2,267	4.36%	-0.02%	951,900	2,158,151,441
2022/10/19	842.48	0.04%	2,268	0.03%	0.00%	951,900	2,158,825,971
2022/10/20	837.45	-0.60%	2,254	-0.60%	0.00%	951,900	2,145,938,684
2022/10/21	839.50	0.24%	2,260	0.24%	0.00%	951,900	2,151,126,676
2022/10/24	850.58	1.32%	2,289	1.31%	-0.01%	951,900	2,179,288,112
2022/10/25	864.88	1.68%	2,328	1.67%	-0.01%	951,900	2,215,735,582
2022/10/26	891.28	3.05%	2,398	3.04%	-0.01%	951,900	2,283,080,467
2022/10/27	878.18	-1.47%	2,363	-1.47%	0.00%	951,900	2,249,577,001
2022/10/28	878.60	0.05%	2,364	0.03%	-0.01%	951,900	2,250,336,222
2022/10/31	886.47	0.90%	2,385	0.89%	-0.01%	951,900	2,270,310,741
2022/11/01	892.65	0.70%	2,402	0.69%	0.00%	951,900	2,286,041,055
2022/11/02	878.61	-1.57%	2,364	-1.57%	0.00%	951,900	2,250,085,950
2022/11/04	869.31	-1.06%	2,339	-1.06%	0.00%	951,900	2,226,192,070
2022/11/07	869.87	0.06%	2,340	0.06%	-0.01%	951,900	2,227,471,964
2022/11/08	875.54	0.65%	2,355	0.65%	-0.01%	951,900	2,241,881,002
2022/11/09	876.83	0.15%	2,359	0.14%	0.00%	951,900	2,245,114,829
2022/11/10	872.94	-0.44%	2,348	-0.45%	0.00%	951,900	2,235,122,586
2022/11/11	907.91	4.01%	2,442	4.00%	-0.01%	951,900	2,324,504,259
2022/11/14	928.83	2.30%	2,498	2.29%	-0.01%	951,900	2,377,814,892
2022/11/15	949.37	2.21%	2,553	2.21%	0.00%	951,900	2,430,320,288
2022/11/16	963.38	1.48%	2,591	1.47%	-0.01%	951,900	2,465,995,452
2022/11/17	963.94	0.06%	2,592	0.06%	0.00%	951,900	2,467,350,031
2022/11/18	943.05	-2.17%	2,536	-2.17%	0.00%	951,900	2,413,894,198
2022/11/21	939.76	-0.35%	2,527	-0.36%	-0.01%	951,900	2,405,271,278
2022/11/22	935.80	-0.42%	2,516	-0.42%	0.00%	951,900	2,395,096,658
2022/11/24	962.92	2.90%	2,589	2.89%	-0.01%	951,900	2,464,246,555
2022/11/25	966.01	0.32%	2,597	0.32%	0.00%	951,900	2,472,043,465
2022/11/28	972.73	0.70%	2,615	0.69%	-0.01%	951,900	2,488,998,384
2022/11/29	975.52	0.29%	2,622	0.28%	0.00%	951,900	2,496,060,258

東証グロース・コア ETF(交換に係わる交換口数)

※交換申込日(令和04年12月1日)、交換受付日(令和04年12月1日)分の交換口数は以下のとおりです。

交換口数: 概算 34,600 口

東証グロース・コア ETF(設定ポートフォリオ)

※設定申込日(令和04年12月1日)、設定受付日(令和04年12月1日)分の設定ポートフォリオは以下のとおりです。

	コード	銘柄名	株式数
1	2158	G-FRONTEO	1700
2	2160	G-GNI	3800
3	3479	G-TKP	1400
4	4051	G-GMO-FG	200
5	4071	G-プラスアルファ	1800
6	4165	G-ブレイド	2600
7	4180	G-Appier	4200
8	4194	G-ビジョナル	600
9	4375	G-セーフィー	2600
10	4477	G-BASE	9100
11	4478	G-フリー	900
12	4480	メドレー	2400
13	4485	G-JTOWER	600
14	4565	G-SOSEI	2900
15	4880	G-セルソース	1000
16	6027	G-弁護士ドットコム	900
17	6030	G-アドベンチャー	300
18	7342	G-ウェルスナビ	2700
19	9229	G-サンウェルズ	600
20	9552	G-M&A総合研究所	700

会社名 シンプレクス・アセット・マネジメント株式会社
(管理会社コード:16714)
代表者名 代表取締役社長 水嶋 浩雅
(銘柄コード:1568)
問合せ先 業務本部 山口 節一
(TEL:03-5208-5211)

『TOPIXブル2倍上場投信』に関する日々の開示事項

開示基準日:令和4年11月29日

1. 上場ETFの上場受益権口数
(開示基準日現在)

310,000 口

2. 上場ETFの純資産総額
(開示基準日現在)

7,869,592,418 円

3. 上場ETFの一口あたりの純資産額
(開示基準日現在)

25,385.78 円

4. 上場ETFの一口あたりの純資産額と対象指標の終値の乖離率
(開示基準日現在)

-0.11 %

$$\text{乖離率} = \left[\frac{\text{上場ETFの一口あたりの純資産額}}{\text{前営業日の上場ETFの一口あたりの純資産額}} - \frac{\text{特定の指標の終値}}{\text{前営業日の特定の指標の終値}} \right] \times 100 (\%)$$

5. 連動対象指標の特徴と留意点

TOPIXレバレッジ(2倍)指数(対象指標)は、下記の計算式を用いて原指標であるTOPIX(配当なし)の前日比変動率(%)*に対して2倍を乗じた変動率となるように計算された指数です。

* 前日比変動率(%)は、小数第3位四捨五入

当日の指数値=前日の指数値×(1+2倍×TOPIX(配当なし)の前日比変動率)

※TOPIXレバレッジ(2倍)指数については、以下のHPをご覧ください。

<http://www.simplexasset.com/etf/etf.html>

対象指標となるレバレッジ型指標の主な特徴および主な留意点

・TOPIXレバレッジ(2倍)指数は、変動率がTOPIX(配当なし)(以下、「TOPIX」といいます。)の日々の変動率の2倍となるように算出されているため、前営業日と比較するとその変動率はTOPIXの2倍となりますが、2営業日以上離れた期間での比較においては、複利効果により、TOPIXの変動率の2倍以上又は未満となる場合があります。

・TOPIXレバレッジ(2倍)指数は、TOPIXが上昇局面においては、より大きなリターンを狙うことが可能ですが、下落局面においては、TOPIXより大きく下落する傾向があります。また、TOPIXが上昇・下落を相互に繰り返す場合、上記の複利効果によりTOPIXレバレッジ(2倍)指数は通減していくという特性があり、このような場合、投資者は利益を得にくくなりますので留意が必要です。また、中長期にわたって投資をする場合、原指標の変動率とレバレッジ型指標の変動率の乖離が大きくなる可能性があり、留意が必要です。

TOPIXブル2倍上場投信

開示基準日におけるTOPIX先物取引の買建玉 22年12月限	892 単位
開示基準日における追加申込	40,000 口
開示基準日における換金(解約)請求	0 口

会 社 名 シンプレクス・アセット・マネジメント株式会社
(管理会社コード:16714)
代表者名 代表取締役社長 水嶋 浩雅
(銘柄コード:1569)
問合せ先 業務本部 山口 節一
(TEL:03-5208-5211)

『TOPIXベア上場投信』に関する日々の開示事項

開示基準日:令和4年11月29日

1. 上場ETFの上場受益権口数
(開示基準日現在)

1,666,000 口

2. 上場ETFの純資産総額
(開示基準日現在)

3,291,024,658 円

3. 上場ETFの一口あたりの純資産額
(開示基準日現在)

1,975.40 円

4. 上場ETFの一口あたりの純資産額と対象指標の終値の乖離率
(開示基準日現在)

0.05 %

$$\text{乖離率} = \left[\frac{\text{上場ETFの一口あたりの純資産額}}{\text{前営業日の上場ETFの一口あたりの純資産額}} - \frac{\text{特定の指標の終値}}{\text{前営業日の特定の指標の終値}} \right] \times 100 (\%)$$

5. 連動対象指標の特徴と留意点

TOPIXインバース(-1倍)指数(対象指標)は、下記の計算式を用いて原指標であるTOPIX(配当なし)の前日比変動率(%) * に対して-1倍を乗じた変動率となるように計算された指数です。

* 前日比変動率(%)は、小数第3位四捨五入

当日の指数値 = 前日の指数値 × (1 - 1倍 × TOPIX(配当なし)の前日比変動率)

※TOPIXインバース(-1倍)指数については、以下のHPをご覧ください。

<http://www.simplexasset.com/etf/etf.html>

対象指標となるインバース型指標の主な特徴および主な留意点

・TOPIXインバース(-1倍)指数は、変動率がTOPIX(配当なし)(以下、「TOPIX」といいます。)の日々の変動率の-1倍となるように算出されているため、前営業日と比較するとその変動率はTOPIXの-1倍となりますが、2営業日以上離れた期間での比較においては、複利効果により、TOPIXの変動率の-1倍以上又は未満となる場合があります。

・TOPIXインバース(-1倍)指数は、下落局面でもリターンを狙うことが可能ですが、上昇局面においては、TOPIXの動きと逆に下落していく傾向があります。また、TOPIXが上昇・下落を相互に繰り返す場合、上記の複利効果によりTOPIXインバース(-1倍)指数は通減していくという特性があり、このような場合、投資者は利益を得にくくなりますので留意が必要です。また、インバース型指標は、中長期にわたって投資をする場合、原指標の変動率とインバース型指標の変動率の乖離が大きくなる可能性があり、留意が必要です。

以 上

TOPIXベア上場投信

開示基準日におけるTOPIX先物取引の売建玉 22年12月限	179 単位
開示基準日における追加申込	140,000 口
開示基準日における換金(解約)請求	0 口

会 社 名 シンプレクス・アセット・マネジメント株式会社
(管理会社コード:16714)
代表者名 代表取締役社長 水嶋 浩雅
(銘柄コード:1572)
問合せ先 業務本部 山口 節一
(TEL:03-5208-5211)

『中国H株ブル2倍上場投信』に関する日々の開示事項

開示基準日:令和4年11月29日

1. 上場ETFの上場受益権口数
(開示基準日現在)

475,000 口

2. 上場ETFの純資産総額
(開示基準日現在)

1,842,666,340 円

3. 上場ETFの一口あたりの純資産額
(開示基準日現在)

3,879.30 円

4. 上場ETFの一口あたりの純資産額と対象指標の終値の乖離率
(開示基準日現在)

0.23 %

$$\text{乖離率} = \left[\frac{\text{上場ETFの一口あたりの純資産総額}}{\text{前営業日の上場ETFの一口あたりの純資産額}} - \frac{\text{円換算した特定の指標の終値}}{\text{円換算した前営業日の特定の指標の終値}} \right] \times 100 (\%)$$

5. 連動対象指標の特徴と留意点

ハンセン中国企業株レバレッジ指数は、ハンセン中国企業株指数の前日比変動率を2倍した指数です。ハンセン中国企業株指数の2倍のレバレッジの効いたリターンに加え、株式投資に対する借入金利及びリバランスに伴う印紙税も指数に反映されます。
※ハンセン中国企業株レバレッジ指数については、以下のHPをご覧ください。

<http://www.simplexasset.com/etf/etf.html>

対象指標となるレバレッジ型指標の主な特徴および主な留意点

注：ハンセン中国企業株レバレッジ指数は、ハンセン中国企業株指数（以下、「原指数」といいます。）の2倍のレバレッジの効いたリターンに加え、株式投資に対する借入金利及びリバランスに伴う印紙税も指数に反映されるため、正確に2倍として計算されるわけではありません。ただし、以下では説明の簡略化のために、「2倍」としていることにご注意ください。

・ ハンセン中国企業株レバレッジ指数は、変動率が原指数の日々の変動率の2倍となるように算出されているため、前営業日と比較するとその変動率は原指数の2倍となりますが、2営業日以上離れた期間での比較においては、複利効果により、原指数の変動率の2倍以上又は未満となる場合があります。

・ ハンセン中国企業株レバレッジ指数は、原指数が上昇トレンドにある場合において、収益をさらに強く求める指標であるため、原指数の上昇を見込む場合には有効です。また、下落局面においては、原指数より大きく下落する傾向があります。

・ レバレッジ型指標は、中長期にわたって投資をする場合、原指数の変動率とレバレッジ型指標の変動率の乖離が大きくなる可能性があり、留意が必要です。

・ 原指数の上昇と下落が相互に繰り返されるような相場においては、複利効果により、原指標と比較して指数のパフォーマンスが逡減して行くという特性があり、投資者は利益を得にくくなりますので、留意が必要です。

・ 円換算した原指標の動きと、円換算したレバレッジ型指標の動きには、為替変動の影響もあるので、留意が必要です。

中国H株ブル2倍上場投信

開示基準日におけるHang Seng China Enterprises Index Future取引の買建玉
(開示基準日における取引を含む。)

22年12月限

744 単位

	A	B
開示基準日までの追加申込	0 口	0 口
開示基準日までの換金(解約)請求	0 口	0 口

A：開示基準日の前営業日

B：開示基準日

会社名 シンプレクス・アセット・マネジメント株式会社
(管理会社コード:16714)
代表者名 代表取締役社長 水嶋 浩雅
(銘柄コード:1573)
問合せ先 業務本部 山口 節一
(TEL:03-5208-5211)

『中国H株ベア上場投信』に関する日々の開示事項

開示基準日:令和4年11月29日

1. 上場ETFの上場受益権口数
(開示基準日現在)

62,000 口

2. 上場ETFの純資産総額
(開示基準日現在)

764,598,031 円

3. 上場ETFの一口あたりの純資産額
(開示基準日現在)

12,332.23 円

4. 上場ETFの一口あたりの純資産額と対象指標の終値の乖離率
(開示基準日現在)

-0.16 %

$$\text{乖離率} = \left(\frac{\text{上場ETFの一口あたりの純資産総額}}{\text{前営業日の上場ETFの一口あたりの純資産額}} - \frac{\text{円換算した特定の指標の終値}}{\text{円換算した前営業日の特定の指標の終値}} \right) \times 100 (\%)$$

5. 連動対象指標の特徴と留意点

ハンセン中国企業株ショート指数は、ハンセン中国企業株指数（配当込）の前日比変動率をインバース（-1倍）した指数です。ハンセン中国企業株ショート指数は、ハンセン中国企業株指数（配当込）の前日比変動率の-1倍のリターンを示します。ハンセン中国企業株指数（配当込）の-1倍のリターンに加え、貸出金利とリバランスに伴う印紙税及び信用売りをしている株が支払いうる配当金も反映します。

※ハンセン中国企業株ショート指数については、以下のHPをご覧ください。

<http://www.simplexasset.com/etf/etf.html>

対象指標となるインバース型指標の主な特徴および主な留意点

注：ハンセン中国企業株ショート指数は、ハンセン中国企業株指数（配当込）（以下、「原指数」といいます。）の-1倍のリターンに加え、貸出金利とリバランスに伴う印紙税及び信用売りをしている株が支払いうる配当金も反映されるため、正確に-1倍として計算されるわけではありません。ただし、以下では説明の簡略化のために、「-1倍」としていることにご注意ください。

・ハンセン中国企業株ショート指数は、変動率が原指数の日々の変動率の-1倍となるように算出されているため、前営業日と比較するとその変動率は原指数の-1倍となりますが、2営業日以上離れた期間での比較においては、複利効果により、原指数の変動率の-1倍以上又は未満となる場合があります。

・ハンセン中国企業株ショート指数は、原指数が下落トレンドにある場合において上昇する指標であるため、ハンセン中国企業株指数原指数の下落を見込む場合には有用です。また、上昇局面においては、原指数の動きと逆に下落していく傾向があります。

・インバース型指標は、中長期にわたって投資をする場合、原指数の変動率とインバース型指標の変動率の乖離が大きくなる可能性があり、留意が必要です。

・原指数の上昇と下落が相互に繰り返されるような相場においては、複利効果により、原指数と比較して指数のパフォーマンスが逡減して行くという特性があり、投資者は利益を得にくくなりますので、留意が必要です。

・円換算した原指標の動きと、円換算したインバース型指標の動きには、為替変動の影響もあるので、留意が必要です。

以上

中国H株ベア上場投信

開示基準日におけるHang Seng China Enterprises Index Futureの売建玉
(開示基準日における取引を含む。)

22年12月限

128 単位

	A	B
開示基準日までの追加申込	0 口	0 口
開示基準日までの換金(解約)請求	0 口	0 口

A：開示基準日の前営業日

B：開示基準日

会社名 シンプレクス・アセット・マネジメント株式会社
(管理会社コード:16714)
代表者名 代表取締役社長 水嶋 浩雅
(銘柄コード:1579)
問合せ先 業務本部 山口 節一
(TEL:03-5208-5211)

『日経平均ブル2倍上場投信』に関する日々の開示事項

開示基準日:令和4年11月29日

1. 上場ETFの上場受益権口数
(開示基準日現在)

1,510,000 口

2. 上場ETFの純資産総額
(開示基準日現在)

23,843,707,161 円

3. 上場ETFの一口あたりの純資産額
(開示基準日現在)

15,790.53 円

4. 上場ETFの一口あたりの純資産額と対象指標の終値の乖離率
(開示基準日現在)

0.25 %

$$\text{乖離率} = \left[\frac{\text{上場ETFの一口あたりの純資産額}}{\text{前営業日の上場ETFの一口あたりの純資産額}} - \frac{\text{特定の指標の終値}}{\text{前営業日の特定の指標の終値}} \right] \times 100 (\%)$$

5. 連動対象指標の特徴と留意点

日経平均レバレッジ・インデックス(対象指標)は、日経平均株価(以下、「日経平均」といいます。)の2倍の変動率で指数が動くよう設計されています。

※日経平均レバレッジ・インデックスについては、以下のHPをご覧ください。

<http://www.simplexasset.com/etf/etf.html>

対象指標となるレバレッジ型指標の主な特徴および主な留意点

・日経平均レバレッジ・インデックスは、変動率が日経平均の日々の変動率の2倍となるように算出されているため、前営業日と比較するとその変動率は日経平均の2倍となりますが、2営業日以上離れた期間での比較においては、複利効果により、日経平均の変動率の2倍以上又は未滿となる場合があります。

・日経平均レバレッジ・インデックスは、日経平均が上昇局面においては、より大きなリターンを狙うことが可能ですが、下落局面においては、日経平均より大きく下落する傾向があります。また、日経平均が上昇・下落を相互に繰り返す場合、上記の複利効果により日経平均レバレッジ・インデックスは逡減していくという特性があり、このような場合、投資者は利益を得にくくなりますので留意が必要です。また、中長期にわたって投資をする場合、原指標の変動率とレバレッジ型指標の変動率の乖離が大きくなる可能性があり、留意が必要です。

以上

日経平均ブル2倍上場投信

開示基準日における日経225先物取引の買建玉 22年12月限	1,743 単位
開示基準日における追加申込	40,000 口
開示基準日における換金(解約)請求	0 口

会 社 名 シンプレクス・アセット・マネジメント株式会社
(管理会社コード:16714)
代表者名 代表取締役社長 水嶋 浩雅
(銘柄コード:1580)
問合せ先 業務本部 山口 節一
(TEL:03-5208-5211)

『日経平均ベア上場投信』に関する日々の開示事項

開示基準日:令和4年11月29日

1. 上場ETFの上場受益権口数
(開示基準日現在)

3,072,000 口

2. 上場ETFの純資産総額
(開示基準日現在)

7,675,286,723 円

3. 上場ETFの一口あたりの純資産額
(開示基準日現在)

2,498.47 円

4. 上場ETFの一口あたりの純資産額と対象指標の終値の乖離率
(開示基準日現在)

-0.13 %

$$\text{乖離率} = \left[\frac{\text{上場ETFの一口あたりの純資産額}}{\text{前営業日の上場ETFの一口あたりの純資産額}} - \frac{\text{特定の指標の終値}}{\text{前営業日の特定の指標の終値}} \right] \times 100 (\%)$$

5. 連動対象指標の特徴と留意点

日経平均インバース・インデックス(対象指標)は、日経平均株価(以下、「日経平均」といいます。)の逆の変動率(-1倍の変動率)で指数が動くよう設計されています。

※日経平均インバース・インデックスについては、以下のHPをご覧ください。

<http://www.simplexasset.com/etf/etf.html>

対象指標となるインバース型指標の主な特徴および主な留意点

・日経平均インバース・インデックスは、変動率が日経平均の日々の変動率の逆(-1倍)となるように算出されているため、前営業日と比較するとその変動率は日経平均の-1倍となりますが、2営業日以上離れた期間での比較においては、複利効果により、日経平均の変動率の-1倍以上又は未満となる場合があります。

・日経平均インバース・インデックスは、下落局面でもリターンを狙うことが可能ですが、上昇局面においては、日経平均の動きと逆に下落していく傾向があります。また、日経平均が上昇・下落を相互に繰り返す場合、上記の複利効果により日経平均インバース・インデックスは通減していくという特性があり、このような場合、投資者は利益を得にくくなりますので留意が必要です。また、インバース型指標は、中長期にわたって投資をする場合、原指標の変動率とインバース型指標の変動率の乖離が大きくなる可能性があり、留意が必要です。

以 上

日経平均ベア上場投信

開示基準日における日経225先物取引の売建玉 22年12月限	274 単位
開示基準日における追加申込	0 口
開示基準日における換金(解約)請求	0 口

会 社 名 シンプレクス・アセット・マネジメント株式会社
(管理会社コード：16714)
代表者名 代表取締役社長 水嶋 浩雅
(銘柄コード：1356)
問合せ先 業務本部 山口 節一
(TEL：03-5208-5211)

『TOPIXベア2倍上場投信』に関する日々の開示事項

開示基準日：令和4年11月29日

1. 上場ETFの上場受益権口数
(開示基準日現在)

5,320,000 口

2. 上場ETFの純資産総額
(開示基準日現在)

4,634,640,810 円

3. 上場ETFの一口あたりの純資産額
(開示基準日現在)

871.17 円

4. 上場ETFの一口あたりの純資産額と対象指標の終値の乖離率
(開示基準日現在)

0.10 %

$$\text{乖離率} = \left[\frac{\text{上場ETFの一口あたりの純資産額}}{\text{前営業日の上場ETFの一口あたりの純資産額}} - \frac{\text{特定の指標の終値}}{\text{前営業日の特定の指標の終値}} \right] \times 100 (\%)$$

5. 連動対象指標の特徴と留意点

TOPIXダブルインバース(-2倍)指数(対象指標)は、下記の計算式を用いて原指標であるTOPIX(配当なし)の前日比変動率(%)*に対して-2倍を乗じた変動率となるように計算された指数です。

* 前日比変動率(%)は、小数第3位四捨五入

当日の指数値=前日の指数値×(1-2倍×TOPIX(配当なし)の前日比変動率)

※TOPIXダブルインバース(-2倍)指数については、以下のHPをご覧ください。

<http://www.simplexasset.com/etf/etf.html>

対象指標となるインバース型指標の主な特徴および主な留意点

・TOPIXダブルインバース(-2倍)指数は、変動率がTOPIX(配当なし)(以下、「TOPIX」といいます。)の日々の変動率の-2倍となるように算出されているため、前営業日と比較するとその変動率はTOPIXの-2倍となりますが、2営業日以上離れた期間での比較においては、複利効果により、TOPIXの変動率の-2倍以上又は未滿となる場合があります。

・TOPIXダブルインバース(-2倍)指数は、下落局面でもリターンを狙うことが可能ですが、上昇局面においては、TOPIXの動きと逆に下落していく傾向があります。また、TOPIXが上昇・下落を相互に繰り返す場合、上記の複利効果によりTOPIXダブルインバース(-2倍)指数は逓減していくという特性があり、このような場合、投資者は利益を得にくくなりますので留意が必要です。また、インバース型指標は、中長期にわたって投資をする場合、原指標の変動率とインバース型指標の変動率の乖離が大きくなる可能性があり、留意が必要です。

以 上

TOPIXベア2倍上場投信

開示基準日におけるTOPIX先物取引の売建玉 22年12月限	475 単位
-----------------------------------	--------

開示基準日における追加申込	110,000 口
開示基準日における換金(解約)請求	0 口

各位

会社名 シンプレクス・アセット・マネジメント株式会社
(管理会社コード:16714)
代表者名 代表取締役社長 水嶋 浩雅
(銘柄コード:1360)
問合せ先 業務本部 山口 節一
(TEL:03-5208-5211)

『日経平均ベア2倍上場投信』に関する日々の開示事項

開示基準日:令和4年11月29日

1. 上場ETFの上場受益権口数
(開示基準日現在)

54,780,000 口

2. 上場ETFの純資産総額
(開示基準日現在)

45,729,014,594 円

3. 上場ETFの一口あたりの純資産額
(開示基準日現在)

834.78 円

4. 上場ETFの一口あたりの純資産額と対象指標の終値の乖離率
(開示基準日現在)

-0.25 %

$$\text{乖離率} = \left[\frac{\text{上場ETFの一口あたりの純資産額}}{\text{前営業日の上場ETFの一口あたりの純資産額}} - \frac{\text{特定の指標の終値}}{\text{前営業日の特定の指標の終値}} \right] \times 100 (\%)$$

5. 連動対象指標の特徴と留意点

日経平均ダブルインバース・インデックス(対象指標)は、日経平均株価(以下、「日経平均」といいます。)とは2倍の逆(マイナス2倍)の変動率で指数が動くよう設計されています。

※日経平均ダブルインバース・インデックスについては、以下のHPをご覧ください。

<http://www.simplexasset.com/etf/etf.html>

対象指標となるインバース型指標の主な特徴および主な留意点

・日経平均ダブルインバース・インデックスは、変動率が日経平均の日々の変動率の2倍の逆(-2倍)となるように算出されているため、前営業日と比較するとその変動率は日経平均の-2倍となりますが、2営業日以上離れた期間での比較においては、複利効果により、日経平均の変動率の-2倍以上又は未滿となる場合があります。

・日経平均ダブルインバース・インデックスは、下落局面でもリターンを狙うことが可能ですが、上昇局面においては、日経平均の動きと逆に下落していく傾向があります。また、日経平均が上昇・下落を相互に繰り返す場合、上記の複利効果により日経平均ダブルインバース・インデックスは逡減していくという特性があり、このような場合、投資者は利益を得にくくなりますので留意が必要です。また、インバース型指標は、中長期にわたって投資をする場合、原指標の変動率とインバース型指標の変動率の乖離が大きくなる可能性があり、留意が必要です。

以上

日経平均ベア2倍上場投信

開示基準日における日経225先物取引の売建玉 22年12月限	3,210 単位
-----------------------------------	----------

開示基準日における追加申込	20,000 口
開示基準日における換金(解約)請求	1,020,000 口

各位

会社名 シンプレクス・アセット・マネジメント株式会社
 (管理会社コード:16714)
 代表者名 代表取締役社長 水嶋 浩雅
 (銘柄コード:1467)
 問合せ先 業務本部 山口 節一
 (TEL:03-5208-5211)

『JPX日経400ブル2倍上場投信(レバレッジ)』に関する日々の開示事項

開示基準日:令和4年11月29日

1. 上場ETFの上場受益権口数
 (開示基準日現在)

15,000 口

2. 上場ETFの純資産総額
 (開示基準日現在)

222,501,029 円

3. 上場ETFの一口あたりの純資産額
 (開示基準日現在)

14,833.40 円

4. 上場ETFの一口あたりの純資産額と対象指標の終値の乖離率
 (開示基準日現在)

-0.04 %

$$\text{乖離率} = \left[\frac{\text{上場ETFの一口あたりの純資産額}}{\text{前営業日の上場ETFの一口あたりの純資産額}} - \frac{\text{特定の指標の終値}}{\text{前営業日の特定の指標の終値}} \right] \times 100 (\%)$$

5. 連動対象指標の特徴と留意点

JPX日経400レバレッジ・インデックス(対象指標)は、下記の計算式を用いて原指標であるJPX日経インデックス400(配当なし)(以下、「JPX日経400」といいます。)の前日比変動率(%)*に対して2倍を乗じた変動率となるように計算された指数です。

* 前日比変動率(%)は、小数第3位四捨五入

当日の指数値=前日の指数値×(1+2倍×JPX日経400の前日比変動率)

※JPX日経400レバレッジ・インデックスについては、以下のHPをご覧ください。

<http://www.simplexasset.com/etf/etf.html>

対象指標となるレバレッジ型指標の主な特徴および主な留意点

・JPX日経400レバレッジ・インデックスは、変動率がJPX日経400の日々の変動率の2倍となるように算出されているため、前営業日と比較するとその変動率はJPX日経400の2倍となりますが、2営業日以上離れた期間での比較においては、複利効果により、JPX日経400の変動率の2倍以上は未満となる場合があります。

・JPX日経400レバレッジ・インデックスは、JPX日経400が上昇局面においては、より大きなリターンを狙うことが可能ですが、下落局面においては、JPX日経400より大きく下落する傾向があります。また、JPX日経400が上昇・下落を相互に繰り返す場合、上記の複利効果によりJPX日経400レバレッジ・インデックスは減速していくという特性があり、このような場合、投資者は利益を得にくくなりますので留意が必要です。また、中長期にわたって投資をする場合、原指標の変動率とレバレッジ型指標の変動率の乖離が大きくなる可能性があり、留意が必要です。

以上

JPX日経400ブル2倍上場投信(レバレッジ)

開示基準日におけるJPX日経400先物取引の買建玉 22年12月限	248 単位
開示基準日における追加申込	0 口
開示基準日における換金(解約)請求	0 口

会 社 名 シンプレクス・アセット・マネジメント株式会社
(管理会社コード:16714)
代表者名 代表取締役社長 水嶋 浩雅
(銘柄コード:1468)
問合せ先 業務本部 山口 節一
(TEL:03-5208-5211)

『JPX日経400ベア上場投信（インバース）』に関する日々の開示事項

開示基準日:令和4年11月29日

1. 上場ETFの上場受益権口数
(開示基準日現在)

7,000 口

2. 上場ETFの純資産総額
(開示基準日現在)

28,736,750 円

3. 上場ETFの一口あたりの純資産額
(開示基準日現在)

4,105.25 円

4. 上場ETFの一口あたりの純資産額と対象指標の終値の乖離率
(開示基準日現在)

0.01 %

$$\text{乖離率} = \left[\frac{\text{上場ETFの一口あたりの純資産額}}{\text{前営業日の上場ETFの一口あたりの純資産額}} - \frac{\text{特定の指標の終値}}{\text{前営業日の特定の指標の終値}} \right] \times 100 (\%)$$

5. 連動対象指標の特徴と留意点

JPX日経400インバース・インデックス（対象指数）は、下記の計算式を用いて原指標であるJPX日経インデックス400（配当なし）（以下、「JPX日経400」といいます。）の前日比変動率（%）* に対して-1倍を乗じた変動率となるように計算された指数です。

* 前日比変動率（%）は、小数第3位四捨五入

当日の指数値=前日の指数値×（1-1倍×JPX日経400の前日比変動率）

※JPX日経400インバース・インデックスについては、以下のHPをご覧ください。

<http://www.simplexasset.com/etf/etf.html>

対象指標となるインバース型指標の主な特徴および主な留意点

・JPX日経400インバース・インデックスは、変動率がJPX日経400の日々の変動率の逆（-1倍）となるように算出されているため、前営業日と比較するとその変動率はJPX日経400の-1倍となりますが、2営業日以上離れた期間での比較においては、複利効果により、JPX日経400の変動率の-1倍以上又は未満となる場合があります。

・JPX日経400インバース・インデックスは、下落局面でもリターンを狙うことが可能ですが、上昇局面においては、JPX日経400の動きと逆に下落していく傾向があります。また、JPX日経400が上昇・下落を相互に繰り返す場合、上記の複利効果によりJPX日経400インバース・インデックスは減衰していくという特性があり、このような場合、投資者は利益を得にくくなりますので留意が必要です。また、インバース型指標は、中長期にわたって投資をする場合、原指標の変動率とインバース型指標の変動率の乖離が大きくなる可能性があります、留意が必要です。

JPX日経400ベア上場投信（インバース）の純資産総額は当社の他のETFに比べて相対的に小さい額となっております。そのため、交付目論見書記載の「その他費用・手数料」の負担割合が当社の他のETFに比べて重くなっておりますことにご留意ください。なお、「その他費用・手数料」は交付目論見書または請求目論見書をご覧ください。

JPX日経400ペア上場投信(インバース)

開示基準日におけるJPX日経400先物取引の売建玉 22年12月限	16 単位
開示基準日における追加申込	0 口
開示基準日における換金(解約)請求	0 口

会社名 シンプレクス・アセット・マネジメント株式会社
(管理会社コード:16714)
代表者名 代表取締役社長 水嶋 浩雅
(銘柄コード:1469)
問合せ先 業務本部 山口 節一
(TEL:03-5208-5211)

『JPX日経400ベア2倍上場投信(ダブルインバース)』に関する日々の開示事項

開示基準日:令和4年11月29日

1. 上場ETFの上場受益権口数
(開示基準日現在)

223,000 口

2. 上場ETFの純資産総額
(開示基準日現在)

356,898,146 円

3. 上場ETFの一口あたりの純資産額
(開示基準日現在)

1,600.44 円

4. 上場ETFの一口あたりの純資産額と対象指標の終値の乖離率
(開示基準日現在)

0.04 %

$$\text{乖離率} = \left[\frac{\text{上場ETFの一口あたりの純資産額}}{\text{前営業日の上場ETFの一口あたりの純資産額}} - \frac{\text{特定の指標の終値}}{\text{前営業日の特定の指標の終値}} \right] \times 100 (\%)$$

5. 連動対象指標の特徴と留意点

JPX日経400ダブルインバース・インデックス(対象指数)は、下記の計算式を用いて原指標であるJPX日経インデックス400(配当なし)(以下、「JPX日経400」といいます。)の前日比変動率(%)*に対して-2倍を乗じた変動率となるように計算された指数です。

* 前日比変動率(%)は、小数第3位四捨五入

当日の数値=前日の数値×(1-2倍×JPX日経400の前日比変動率)

※JPX日経400ダブルインバース・インデックスについては、以下のHPをご覧ください。

<http://www.simplexasset.com/etf/etf.html>

対象指標となるインバース型指標の主な特徴および主な留意点

・JPX日経400ダブルインバース・インデックスは、変動率がJPX日経400の日々の変動率の2倍の逆(-2倍)となるように算出されているため、前営業日と比較するとその変動率はJPX日経400の-2倍となりますが、2営業日以上離れた期間での比較においては、複利効果により、JPX日経400の変動率の-2倍以上又は未満となる場合があります。

・JPX日経400ダブルインバース・インデックスは、下落局面でもリターンを狙うことが可能ですが、上昇局面においては、JPX日経400の動きと逆に下落していく傾向があります。また、JPX日経400が上昇・下落を相互に繰り返す場合、上記の複利効果によりJPX日経400ダブルインバース・インデックスは減衰していくという特性があり、このような場合、投資者は利益を得にくくなりますので留意が必要です。また、インバース型指標は、中長期にわたって投資をする場合、原指標の変動率とインバース型指標の変動率の乖離が大きくなる可能性があり、留意が必要です。

以上

JPX日経400ペア2倍上場投信(ダブルインバース)

開示基準日におけるJPX日経400先物取引の売建玉 22年12月限	398 単位
開示基準日における追加申込	0 口
開示基準日における換金(解約)請求	0 口

会 社 名 シンプレクス・アセット・マネジメント株式会社
(管理会社コード:16714)
代表者名 代表取締役社長 水嶋 浩雅
(銘柄コード:2516)
問合せ先 業務本部 山口 節一
(TEL:03-5208-5211)

『東証マザーズETF』に関する日々の開示事項

開示基準日:令和4年11月29日

1. 上場ETFの上場受益権口数
(開示基準日現在)

26,170,000 口

2. 上場ETFの純資産総額
(開示基準日現在)

16,263,285,195 円

3. 上場ETFの一口あたりの純資産額
(開示基準日現在)

621.45 円

4. 上場ETFの一口あたりの純資産額と対象指標の終値の乖離率
(開示基準日現在)

-0.01 %

$$\text{乖離率} = \left[\frac{\text{上場ETFの一口あたりの純資産額}}{\text{前営業日の上場ETFの一口あたりの純資産額}} - \frac{\text{特定の指標の終値}}{\text{前営業日の特定の指標の終値}} \right] \times 100 (\%)$$

以 上

東証マザーズETF

開示基準日における東証マザーズ指数先物取引の買建玉
22年12月限 20,256 単位

開示基準日における追加申込 0 口
開示基準日における換金(解約)請求 0 口

会社名 シンプレクス・アセット・マネジメント株式会社
(管理会社コード:16714)
代表者名 代表取締役社長 水嶋 浩雅
(銘柄コード:2555)
問合せ先 業務本部 山口 節一
(TEL:03-5208-5211)

『東証REIT ETF』に関する日々の開示事項

開示基準日:令和4年11月29日

1. 上場ETFの上場受益権口数
(開示基準日現在)

23,511,841 口

2. 上場ETFの純資産総額
(開示基準日現在)

47,635,830,588 円

3. 上場ETFの一口あたりの純資産額
(開示基準日現在)

2,026.04 円

4. 上場ETFの一口あたりの純資産額と対象指標の終値の乖離率
(開示基準日現在)

0.25 %

$$\text{乖離率} = \left[\frac{\text{上場ETFの一口あたりの純資産額}}{\text{前営業日の上場ETFの一口あたりの純資産額}} - \frac{\text{特定の指標の終値}}{\text{前営業日の特定の指標の終値}} \right] \times 100 (\%)$$

5. 設定および交換にかかる株式のポートフォリオ (別紙参照)

東証 REIT ETF(交換に係わる交換口数)

※交換申込日(令和04年12月1日)、交換受付日(令和04年12月1日)分の交換口数は以下のとおりです。

交換口数 : 概算 150,000口

東証 REIT ETF(設定ポートフォリオ)

※設定申込日(令和04年12月1日)、設定受付日(令和04年12月1日)分の設定ポートフォリオは以下のとおりです。

No.	銘柄コード	銘柄名	株式数
1	29710	R-エスコンジャパン	5
2	29720	R-サンケイRE	9
3	29790	R-SOSiLA物流	13
4	29890	R-東海道リート	3
5	32260	R-アコモF	9
6	32340	R-森ヒルズ	32
7	32490	R-産業ファ	41
8	32690	R-ADR	27
9	32780	R-ケネディレジ	20
10	32790	R-API	14
11	32810	R-GLP	88
12	32820	R-コンフォリア	13
13	32830	R-プロロジ	45
14	32870	R-星野	5
15	32900	R-Oneリート	5
16	32920	R-イオンリート	30
17	32950	R-ヒューリックRE	26
18	32960	R-日本リート	9
19	33090	R-積水ハウスリート	82
20	34510	R-トーセイ・リート	6
21	34530	R-ケネディクス商業	12
22	34550	R-HCM	7
23	34590	R-サムティレジ	7
24	34620	R-NMF	89
25	34630	R-いちごホテル	4
26	34660	R-ラサールロジ	33
27	34680	R-スターアジア	34
28	34700	R-マリモリート	3
29	34710	R-三井不ロジパーク	11
30	34720	R-大江戸温泉	4
31	34760	R-投資法人みらい	33
32	34780	R-森トラストホテル	6
33	34810	R-三菱地所物流	9
34	34870	R-CREロジ	10
35	34880	R-ザイマックス	4
36	34920	R-タカラリート	12
37	34930	R-ADL	12
38	89510	R-ビルF	32
39	89520	R-ジャパン	27
40	89530	R-都市ファンド	138
41	89540	R-オリックスF	55
42	89550	R-Jプライム	19
43	89560	R-NTT都市開発R	26
44	89570	R-東急RE	18
45	89580	R-グローバル	19
46	89600	R-ユナイテッド	61

No.	銘柄コード	銘柄名	株式数
47	89610	R-森トラスト	19
48	89630	R-INV	121
49	89640	R-フロンティア	10
50	89660	R-平和RE	19
51	89670	R-ニホンロジ	18
52	89680	R-福岡	14
53	89720	R-ケネディオフィス	16
54	89750	R-いちごオフィス	22
55	89760	R-大和OF	6
56	89770	R-阪急阪神	12
57	89790	R-スターツPR	5
58	89840	R-ハウスリート	41
59	89850	R-JHR	88
60	89860	R-大和証券リビング	38
61	89870	R-エクセレント	25